

MYOFUNCTIONAL SLEEP APPLIANCE

myosa[®]

日中1時間
と夜間就寝
時の使用

S3



TMJBDS[®]
FOR TMJ, BREATHING
& DISORDERED SLEEP

ステージ3

鼻呼吸を獲得した患者用

www.myosa.com

国際特許

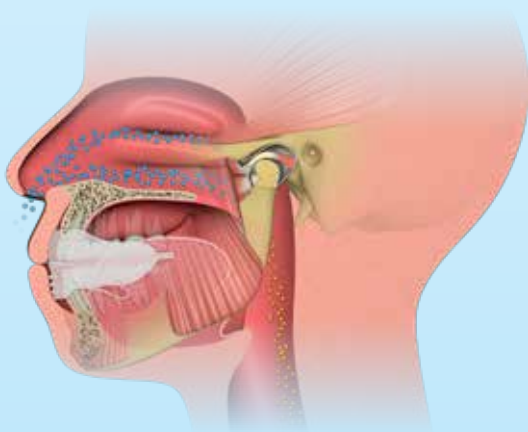
詳細はMYORESEARCH.COMをご覧ください。

口腔内装置による治療

Myosa[®] for TMJBDS[®]プログラムには、睡眠関連呼吸障害 (SRBD) および顎関節症 (TMJ/D) の存在を特定するための具体的な評価、診断、および治療ステージがあります。これらの障害は相互に関連しており、TMJBDSという症候群として一つにまとめられています。歯牙(**T**eeth)、筋肉(**M**uscles)、顎(**J**aws)、呼吸(**B**reathing)、睡眠障害(**D**isordered **S**leep)に関連する症状です。

迅速な症状緩和とともに、Myosa[®]プログラムは問題の根本原因に対処するために特別に設計された治療です。

Myosa[®]プログラムは、症状が完全に解消されることを目指しますが、結果には個人差があります。



注意：口腔内装置は、歯牙の位置や顎関係を変える可能性があります。硬い下顎前方誘導装置 (MAD) とは異なり Myosa[®]装置は柔軟性があるため、顎関節の痛みや咬合への影響を最小限に抑えます。

問題を理解する

睡眠と顎関節障害は、世界中の多くの人々に影響を及ぼしています。症状の範囲が広く、原因と適切な治療法の特定が困難な場合があるため、苦しんでいる多くの患者は、診断されずにいるか誤って治療されています。頭痛、頸部痛、夜間のいびき、日中の倦怠感などの症状は一見無関係に見えるかもしれませんが、それらはすべて単一の健康問題の一部である可能性があります。顎関節障害(TMD)の原因の2つは、口呼吸と誤った嚥下習慣であるため多くの場合、それらの症状は同時に発生します。

正常な鼻呼吸vs口呼吸

口呼吸は異常であり、睡眠呼吸障害(SDB)の原因の1つです。子どもは口で呼吸していると顎は正しく前方に発達することができません。SDBを患っている成人はたいてい顎が劣成長で、それは舌と下顎が気道を制限する原因となります。したがって、下顎と舌を前方に保ち、気道を確保するためには、常に正しく鼻で呼吸する方法を学ぶことが重要です。



口呼吸
低位舌



鼻呼吸
拳上された舌

Myosa[®] S3 – ステージ3

Myosa[®] for TMJBDS[®] S3は、前段階のMyosa[®]治療(S1およびS2)を経過した患者向けに設計されています。Myosa[®] S3は、下顎の前進を少なくし、ベースを薄くして垂直方向の開口を少なくします。これは、正常な顎位と垂直的開口への移行を助けます。Myosa[®] S3は、鼻呼吸が確立され、顎関節症の症状が大幅に軽減された段階で使用します。通常、舌と口唇を強化することで鼻呼吸の改善と口腔習癖を是正するためにMyotalea[®]装置と組み合わせて使用されます。

Myosa[®] for TMJBDS[®] S3 – 設計の特徴

低い側面は鼻呼吸が確立された患者に優れた保持力を提供します。

2つの小さな呼吸孔は習慣的な鼻呼吸を維持するために設計されています。

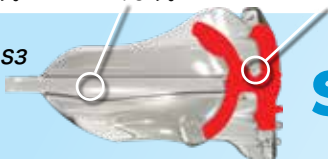
タンタグは舌を前上方の正しい位置に維持します。

タンエレベーターが舌を正しい位置に保持します。

フレキシブルな素材は患者コンプライアンスと快適性を高めます。

薄いベースは、顎の最適な位置づけと正常な開口を可能にします。

Myosa[®] S3
断面図



S3 ステージ3
鼻呼吸を獲得した患者用

使用の適応症

Myosa[®]装置を使用する前に睡眠障害が疑われる場合、治療担当医はその評価のために患者を専門医に紹介することがあります。Myosa[®]口腔内装置は、TMJBDSの症状を持つ患者に快適さが得られるまで日中に使用されます。慣れたら日中1時間と夜間就寝時に使用します。

使用方法



ステップ1 - タンタグが上にある状態でMyosa[®]装置を持ちます。



ステップ2 - Myosa[®]装置を口腔内に入れてください。



ステップ3 - 舌をタンタグに当ててください。



ステップ4 - Myosa[®]装置を噛んで顎を前方に誘導させます。



ステップ5 - 意識して口唇を閉じ鼻から呼吸をします。

Myosa[®]装置を強く噛み込まないでください。

S3は日中および夜間の使用を目的としています。

設計特徴

- 2つの小さな呼吸孔は、習慣的な鼻呼吸を維持するために設計されています。
- タンタグは前上方の正しい舌の位置を維持します。
- タンエレベーターは舌を正しい位置に保ちます。
- ソフトでフレキシブルなMyosa[®] S3は硬い装置に比べ着け心地が快適です。
- 低い側面は鼻呼吸が確立された患者に優れた保持力を提供します。
- 薄いベースは、最適な顎位と正常な垂直的開口を可能にします。

S2またはS2M装置で鼻呼吸が確立されTMJBDS症状が軽減された後にMyosa[®] S3を使用します。

Myosa[®]の洗浄: 口から外したらすぐにぬるま湯で洗い流してください。週に2回洗浄剤をご使用ください。推奨の洗浄剤については、かかりつけ歯科医にお尋ねください。

**重要: 状態を正しく評価するためには
医療従事者への相談が不可欠です。**

耐用期間: 毎日使用した場合6ヶ月間。使用頻度にかかわらず12ヶ月後に交換してください。



Myosa[®] by Myofunctional Research Co.
Myofunctional Research Co. Australia
44 Siganto Drive, Helensvale QLD 4212 Australia
Tel: +61 7 5573 5999

USA Representative:

Myofunctional Research Co. USA
9267 Charles Smith Avenue, Rancho Cucamonga CA 91730 USA
PO Box 2781, Rancho Cucamonga CA 91730 USA
Tel: +1 866 550 4696



European Representative:

Myofunctional Research Europe B.V.
Gompensstraat 21c 5145 RM Waalwijk The Netherlands
P.O. Box 718, 5140 AS Waalwijk The Netherlands
Tel: +31 416 651 696



**MYOFUNCTIONAL
RESEARCH CO.**
INNOVATIVE DENTAL APPLIANCE
TECHNOLOGY AND EDUCATION



直射日光を避けてください。

患者1人用。



使用する前に洗浄してください。